

書いたもの一覽

(氏名五十音順)

●は単行本)

浅原達郎

殷代の甲骨による古いと卜辞 東アジア怪異学会編『亀卜』

五月

読上海博物館藏楚簡札記序 日古 八号

三月

尾崎雄二郎先生と一般教育 日古 八号

三月

李昇燁

朝鮮人内鮮一体論者の転向と同化の論理 尹海東他編『近代を讀み直す』ソウル…歴史批評社 十一月(原文朝鮮語)

池田巧

●中国語のしくみ 白水社

三月

石川禎浩

中共一大会場被搜查之謎 百年潮 四期 四月
死後の孫文——遺書と紀念週 東方学報 京都 七九冊 九月

プリンストン高等研究所の東洋学(下) 漢字と情報 一三 十月

通史と歴史像 飯島渉等編『二一世紀の中国近現代史研究を求めて』研文出版

求めて』研文出版

十一月

『中国共産党成立史』出版後の補充説明 上海革命史資料與

研究 六輯

●初期コミンテルンと東アジア(共編著)

不二出版 二月

稲葉 穰

漢字文献とアフガニスタン古代史 漢字と文化 八号 京都
大学人文科学研究所二一世紀COEプログラム 六月

講演録…複数文化接領域としての古代アフガニスタン

コンタクトゾーン 一号 京都大学人文科学研究所附属人文学国際研究センター 三月

井波陵一

断片であるということ——王国維の『人間詞話』について 東方学報 京都 七九冊 九月

訳語から見えるもの 漢字と文化 九号 十一月

岩井茂樹

一六〇一八世紀東アジアにおける国際商業と互市体制 東アジア研究 四六号 十一月

清代の互市と『沈黙外交』 夫馬進編『中国東アジア外交史の流史の研究』 京都大学学術出版会 三月

王朝財政にみる集権と分散 『共同シンポジウム「東アジア文明の歴史的特質」報告集』早稲田大学21世紀COEプロ

グラム

三月

岩城卓二

幕藩体制における西摂津支配 科研費成果報告書『国家的港湾都市域としての西摂津地域形成過程の研究』

二〇〇六年三月

岸和田藩家臣団について 科研費成果報告書『畿内譜代大名

岸和田藩の総合的研究』二〇〇六年三月 柏書房

●近世畿内・近国支配の構造

図説尼崎の歴史 近世編 尼崎市 二月（山崎隆三他と共同執筆）

天保期、西摂津における米穀流通 兵庫のしおり 九号

三月

二〇〇六年度日本史研究会近世部会日比報告コメント 日本史研究 五三五号

三月

ウィッテルン クリステイアン

Writing Systems and Character Representation. Lou Burnard et al. (eds.) *Electronic Textual Editing. Modern Language Association*

九月

王寺賢太

晴れた日の朝には自転車です 人文 五四号

六月

書評・マラドーナの栄光と悲慘 マルセロ・ガントマン、ア
ンドレス・ブルゴ編『マラドーナ！』現代企画室 週刊読

書人

七月一四日号

●翻訳…ドニ・デイドロ著『運命論者ジャックとその主人』

（田口卓臣との共訳）

白水社 十二月

ケベックの思い出——二〇〇六年度国際18世紀学会若手研究者セミナーに参加して 日本18世紀学会学会ニュース 五

三号

十二月

啓蒙のための十章

第一章 二一世紀の問いと一八世紀の回答

京都新聞

一月三〇日

第二章 調和について

京都新聞

二月六日

第三章 歴史について

京都新聞

二月二〇日

第四章 自律について

京都新聞

二月二七日

第五章 弱さについて

京都新聞

三月六日

第六章 齟齬について

京都新聞

三月一三日

第七章 希望について

京都新聞

三月二〇日

第八章 運命について

京都新聞

三月二七日

ジャックの膝、ドニーズの太もも

新潮 三月

大浦康介

〈日本〉を書く——ピエール・ロティ『お菊さん』の位置

宇佐美斉編『日仏交感の近代——文学・美術・音楽』

京都大学学術出版会 五月

ポルノグラフィにおける言葉と身体——リベルタン小説と

猥褻語 吉田城・田口紀子編『身体フランス文学——ラ

ブレーからブルーストまで』

京都大学術出版会 十一月

●翻訳…ウォルター・ケンドリック『シークレット・ミュージ

アム—猥褻と検閲の近代』(監訳) 平凡社 三月

岡田 暁 生

ヴィルトゥオーソ狂詩曲! 社交界とオペラとサロンの一九
世紀」伊東信宏編『ピアノはいっぱいになったか』

大阪大学出版局 三月

ドイツ音楽からの脱出? 戦前日本におけるフランス音楽受
容の幾つかのモード」宇佐美斉編『日仏交感の近代』

京都大学出版局 五月

クラシックの黄昏? 大航海 六〇号

練習曲の思想と均質化する指たち 民博通信 一一一 号

岡村 秀 典

座談会…夏王朝探索—現状と展望 歴史と文化(東北学院大
学論集) 四一 号

礼制からみた国家の成立 東アジア古代国家論

すいれん舎 四月

石窟以前の雲岡 日本考古学協会第七二回総会研究発表要旨

五月

対談…異文化理解 天王寺「学びのもり」から—附中・高卒
業生対談集

中国古代の農耕儀礼と王権 東洋史研究 六五卷三三 号

十二月

王朝成立的考古学証拠 二里頭遺址与二里頭文化研究

科学出版社 十二月

西域美術と漢代文物 シルクロードを拓く(シルクロード・
奈良国際シンポジウム記録集 八)

一月

私が影響を受けた考古学者 林已奈夫 文化遺産の世界 二

四号

幻の「夏」王朝の発見 資料に見る最新中国史(アジア遊学
九六号)

伝沖ノ島出土の透彫り金具について 日中交流の考古学

二月

北魏方山永固陵の研究—東亞考古学会一九三九年収集品を中
心として 東方学報 京都 八〇冊

三月

籙 谷 直 人

日中全面戦争後の在日本華僑・印僑ネットワーク 倉沢愛子
ほか編『岩波講座 アジア・太平洋戦争 7 支配と暴

力』

十九世紀の東アジアにおける主権国家形成と帝国主義 歴史

科学 一八四号

大阪歴史科学協議会 五月

加藤 和 人

ヒトゲノムマップ(文部科学省科学技術週間にて配布。加納
圭他二名と共同制作)

四月

Opinions of Japanese Life Scientists on Science Com-
munication. Proceedings of the 9th International Confer-

ence on Public Communication of Science & Technology, Seoul, Korea. (東島仁と共著) 五月

わが国におけるこれからのゲノム研究 (「ゲノムフォーラム 二〇〇五」講演記録 文部科学省科研費特定領域研究「ゲノム」四領域編 九月

ゲノム科学は社会にどのように貢献できるか (「ゲノム科学 と社会」シンポジウム記録) 文部科学省科研費特定領域 研究「応用ゲノム」編 二〇〇七年三月

菊 地 暁

《民俗学者》としての藤森照信—その歩く／見る／聞く作法 を考える— 10+1 四四号 九月

人文研アカデミー…身体論のすすめ 共通教育通信 七号

京大国史の「民俗学時代」 国史研究室通信 三三三号 十月

近頃、気になることのいくつか—「民俗」「史学史」「組織」「メディア」「書物」— artscape: book navigation 十一月

『嗜好』の試行—明治屋PR誌からみる《洋食》史— 川村 邦光編『日本の知的遺産としての洋食文化の研究』 二月

コスメティック・アグリカルチュラリズム—石川県輪島市「白米の千枚田」の場合— 岩本通弥編『ふるさと資源化 と民俗学』 吉川弘文館 三月

赤松智城論ノオト—徳心寺所蔵資料を中心に— 人文学報 九四号 三月

金 文 京

日中韓三国の三国志—三つの三国志物語 三国志シンポジウム大東文化大 座談会…三国志演義研究をめぐって (共著) 未名 二四号 二月

中国和日本《三国志演義》研究的回顧与展望 (共著) 文藝研究 神戸大学 三月

東亜争奇文学初探 域外漢籍研究集刊 第二輯 文芸研究雑誌社 (北京) 四月

中華書局 五月

東亜細亜争奇文学考察 韓国寓言文学会編『寓言の人文学的 位相と現代の活用』 図書出版社 (ソウル) 六月

和漢比較文学から東アジア比較文学へ (講演筆録) 文藝論 叢 六七号 大谷大学文藝学会 九月

再論《三国志演義》 版本系統与花関索・関索故事之関係 中国 古代小説研究 第二輯 人民文学出版社 十月

久保 昭 博

翻訳…ミシエル・ヴィノック『知識人の時代』 塚原史他と 共訳 紀伊国屋書店 二月

倉 島 哲

●身体技法と社会学的認識 世界思想社 二月

古 勝 隆 一

●中國中古の學術 研文出版 十一月

書評…澤田多喜男訳註『黄帝四經』馬王堆漢墓帛書 老子乙
本卷前古佚書』週刊読書人 十二月一日号

佐野 誠子

怪談考古学・虫ノ巻 中国篇 ダヴィンチ増刊幽 vol.5
メデアファクトリー社 六月

小関 隆

事典の項目…『労働貴族』『労働者階級』 川北稔編『歴史学
事典13…所有と生産』 弘文堂 四月

ランドルフ・チャーチルの死 ヴィクトリア朝文化研究 四
号 十一月

●プリムローズ・リーグの時代…世紀転換期イギリスの保守主
義 岩波書店 十二月

齋藤 智寛

翻訳…李遠国『天空の文字——道教の符図文献とその分析』
京都大学人文科学研究所編『中国宗教文献研究』 臨川書店 二月

曾布川 寛

●科研費成果報告書『中国美術の図像学的研究』（編著） 三月
●芸術学フォーラム4 東洋の美術（共編著）

坂本 優一郎

事典編集および項目執筆…『株主』 川北稔（責任編集）『歴
史学事典 第十三巻 所有と生産』 弘文堂 四月

文献解題…『森谷克己』『アジアの生産様式論』、『ウィットフ
ォーゲル（平野義太郎・宇佐美誠次郎訳）』『支那社会の科
学的研究』、『大塚久雄』『共同体の基礎理論』 山室信一
編『岩波講座「帝国」日本の学知 第8巻 空間形成と世
界認識』 岩波書店 十月

●中国古典小説選2 搜神記・幽明録・異苑他（六朝）
明治書院 十一月

従史官制度來看六朝志怪の歴史 六朝文学国際会議報告論文
北京大学中文系・六朝文学学会 十二月

翻訳…王承文『靈宝』『天文』信仰と古靈宝経教義の展開—敦
煌本『太上洞玄靈宝真文度人本行妙経を中心に—』 京都
大学人文科学研究所編『中国宗教文献研究』 臨川書店 二月

漢代画像石の世界 『東洋の美術』 勁草書房 七月

中国石窟の多佛表現—三世佛・七佛・千佛・一万五千佛—
『東洋の美術』 勁草書房 七月

盛唐前夜における中央アジア・ソグド人の活躍 秀明美術
二一三号 十一月

高木 博志

行政文書にみる明治初期の門跡寺院—『太政類典』『公文
録』・京都府庁文書を中心に 科研費成果報告書『随心院

門跡を中心とした京都門跡寺院の社会的機能と歴史の変遷に関する研究』(水本邦彦研究代表者、京都府立大学)

三月
明治維新と賀茂祭 大山喬平監修『上賀茂のもり・やしろ・まつり』 思文閣出版 六月

●近代天皇制と古都

近代京都と豊臣秀吉 『近代京都の創造』(人文研ブックレット ト、一二三) 岩波書店 七月

『郷土愛』と『愛国心』はどのように繋がれてきたか 論座 同志社大学人文科学研究所 九月

戦後六〇年、オーストリアと日本の歴史意識 『ウィーン・シンポジウム 帝国と民族アイデンティティ 東アジアとオーストリアをめぐって』 朝日新聞社 二月
人間文化研究機構国立歴史民俗博物館 三月

高階 絵里加

興味深い英仏絵画の影響「スコットランド美術館展」

日本経済新聞(夕刊) 四月六日

Japan and the West in Meiji Art, *Raku-Yu Kyoto University Newsletter* 9, Spring 2006

須田剋太の「縄文記号」をめぐって『美術史家、大いに笑う——河野元昭先生のための日本美術史論集』ブリュッケ

フランスから来た「日本」——『蜻蛉集』挿絵について—— 四月
美斉編『日仏交感の近代』 宇佐 五月
京大出版会

ブルターニュの「日本」 宇佐美斉編『日仏交感の近代』

京大出版会 五月

「純粋な愛」見せる魔法 「愛の旅人 シャガール展」

日本経済新聞(夕刊) 五月十八日
鮮烈に輝く色彩の共演 「印象派と西洋絵画の巨匠たち展」

日本経済新聞(夕刊) 六月二二日
劇的…華麗、人間洞察も鋭く、「ブラド美術館展」

日本経済新聞(夕刊) 七月二七日
自由な表現にかるやかさ 「三つの個展…伊藤存×今村源×須藤悦弘」

日本経済新聞(夕刊) 九月五日
一九世紀絵画の変化を示す 「バルビゾンから印象派」展

日本経済新聞(夕刊) 九月十九日
Trans-Acting 五感使い記憶に新しい命——

日本経済新聞(夕刊) 十月二六日
三瀬夏之介展 こわくない大迫力の絵

日本経済新聞(夕刊) 十月二六日
関西発、分野超える力強さ 「ニッポンVS美術」展

日本経済新聞(夕刊) 十一月十五日
心揺さぶる動植物・人間 京都市美術館「春を待つ」

日本経済新聞(夕刊) 一月九日
和洋折衷に豊かさ実感——京都の「揺らぐ近代」展

日本経済新聞(夕刊) 二月十五日
白昼夢の世界へ引き込む サントリーミュージアム「天保

山」ダリ展 日本経済新聞(夕刊) 三月二二日

高田時雄

Семинар "Дуньхуановедение на берегах Невы" (共著)、

Письменные Памятники Востока 4 三月

●『梵諦岡圖書館所藏漢籍目錄』、北京、中華書局、伯希和編、

高田時雄校訂、補編 六月

共建敦煌學知識庫時需要遵守的幾點建議(共著) 敦煌學知

識庫國際學術研討會論文集 六月

『トルファン出土佛典の研究——高昌殘影釋録』と『中村不

折舊藏西域墨書集成』の刊行 敦煌學國際連絡委員會通訊

七月

敦煌學國際連絡委員會的任務 南京師範大學報二〇〇六年九

月八日號 九月

書評：今村与志雄編『橋川時雄の詩文と追憶』 圖書新聞

第二七九號 十一月

清野謙次蒐集敦煌寫經の行方 漢字と文化 九號 十一月

敦煌遺書與漢語史研究 敦煌研究二〇〇六年第六期(総第一

〇〇期) 十二月

A Note on the Lijiang Tibetan Inscription, *Asia Major*

XIX, Pt. 1-2. 三月

竹沢泰子

Race Should be Discussed and Understood Across the

Globe. *Anthropology News*. American Anthropological

Association. 四月

「外国人」としての日系人——「多文化共生」をめざす震災後の

神戸のなかで レーン・ヒラバヤシ他編『日系人とグロー
バリゼーション』 人文書院 六月

「人種」は存在するか 綾部恒雄・桑山敬巳編『よくわかる

文化人類学』 ミネルヴァ書房 十月

現代の人種差別 綾部恒雄・桑山敬巳編『よくわかる文化人

類学』 ミネルヴァ書房 十月

フィールドノートから 奥田道大他監修、広田康生他編『先

端都市社会学の地平』 ハーベスト社 十一月

兵庫県の多文化共生の取り組み 『KIZUNA』

兵庫県人権啓発協会 三月

解説 神部武宣著『さらばモンゴロイド』 生活書院 三月

武田時昌

婦人病の医学思想 中国思想史研究 二八号

二〇〇六年三月

精誠の哲学『中国学の十字路口』 研文出版 四月

西洋科学の啓蒙家一方以智 橋本高勝編『中国思想の流れ

(下)』 晃陽書房 九月

西学受容と近世の科学知識『第六回日韓科学史セミナー発

表草稿集』 九月

人文研アーカイブス(一二) 呂才撰『大唐陰陽書』下巻(卷

第三十三) 漢字と情報 一二号 十月

釈円通の中西天文説批判 二〇〇六年度同志社大学ハイテ

ク・リサーチ、学術フロンティア合同シンポジウム講演予

稿集(理工学研究報告 四七巻四号別冊) 一月

新蔵新蔵博士の迷信研究―『大唐陰陽書』購入余話 漢字と情報 一四号 二月

田中 淡

編集後記・佛教藝術 二八六号 五月
インタビュ―中国で構想する建築史 建築雑誌 十二月号

田中 雅一

連載：WEB ちくま 癒しとイヤラシ 性の文化人類学
「1 人類学の3P その1」(10月)「2 人類学の3P その2」(11月)「3 女体盛りは芸術?」(12月)「4 性のエスノグラフィ―その1」(1月)「5 性のエスノグラフィ―その2」(2月)「6 性のエスノグラフィ―その3」(3月)「7 性の祭り」(4月)「8 性を展示する 秘宝館 その1」(5月)「9 性を展示する 秘宝館 その2」(6月)「10 自慰とオーガズム」(7月)「11 癒しとイヤラシのボルノグラフィ―その1」(8月)「12 癒しとイヤラシのボルノグラフィ―その2」(9月)

FAO Bay of Bengal Programme (1979-2000) における地域概念―その出版物の分析 人文学報 九三号 三月
信仰の証としての暴力―シンガポールのタイ・プーサム祭 宗教研究 七九巻四号

インタビュ―研究室紹介(文化人類学)―現代の性をどう見つめるか『京都大学新聞』 六月一日
翻訳：イヤル・ベン・アリ(私の)名前、日本の就学前教

育と子どもの力 所報人文 五三三号 六月
シンガポールの街角がスペクタクルとなるとき 人環フォーラム 一九号 九月

書評：窪田幸子著『アボリジニ社会のジェンダー人類学』 文化人類学 七二巻二号 九月
書評：小谷汪之『東洋叢書12 罪の文化―インド史の底流』南アジア研究 一八号 十月

●共編『ミクロ人類学の実践』

ミクロ人類学の課題 ミクロ人類学の世界 世界思想社 十一月

網子たちの実践と社会変化―スリランカ地曳網漁の労働組織 ミクロ人類学の世界 世界思想社 十一月
身内で結婚する―スリランカ・タミル漁村における婚姻をめぐる 社会人類学年報 三三巻 十一月

癒しとイヤラシのボルノグラフィ―代々木忠監督作品をめぐる 人文学報 九四号 三月
(翻訳)イヤル・ベン・アリ イスラエル軍隊研究に向けての個人的な旅立ち 人文学報 九四号 三月

神々への供物―南インド・チダンバラムにおける寺院儀礼と家庭祭祀をめぐる 人文学報 九五号 三月
コンタクト・ゾーンの文化人類学へ―『帝国のまなざし』を読む コンタクト・ゾーン 創刊号 三月

言説が数億の女を殺す―内山田氏の書評に答える 文化人類学』七一巻四号 三月

田中 祐理子

「啓蒙」を求めて 人文 五三三号

六月

目と言葉——「レーヴェンフック」を考えるために—— 人

文学報 九三号

十一月(奥付は〇六年三月)

田辺 明生

Cultural Politics of Ethics in Everyday Practice: Caste, Local Society and Vernacular Democracy in Orissa, India.

東京大学大学院総合文化研究科提出博士論文 五月

デモクラシーと生モラル政治——中間集団の現代的可能性に關する一考察 文化人類学 七一巻一号

Recast(e)ing Identity: Transformation of Inter-Caste Relationships in Post-Colonial Rural Orissa. *Modern Asian Studies* 40(3).

ヴァナキュラー・デモクラシーの可能性——ダルマ思想と現代世界 二一世紀フォーラム No. 106.

三月

七月

谷川 穰

「透明ランナー」研究ことはじめ 日本教育史往来 一六一号

明治一〇年代における僧侶の学校教員兼務——教育と仏教の近代史にむけての一視角—— 仏教史学研究 四九集

(一) 八月

文献解題・内田正雄「與地誌略」、内村鑑三「地理学考」、牧口常三郎「人生地理学」、和辻哲郎「風土」 山室信一編

『帝国』日本の学知 第八巻 空間形成と世界認識

高橋秀直先生を偲ぶ 以文 四九号

お伺いしたかったこと 高橋秀直さんを偲ぶ会編『追想 高橋秀直』

田中不二磨をめぐる人々——田中不二磨宛書簡を通して——(鈴木栄樹らと共著) 科研費成果報告書『近代初頭日本における教育の地方分権化・自由化政策の形成』

明治中期における仏教者の俗人教育 人文学報 九四号

富永 茂樹

憂鬱という淵源——トクヴィルと近代社会学の発見 みすず 五四一号

二〇〇六年読書アンケート みすず 五四六号

富谷 至

近年出土した中国古代の法律 立教大学東アジア地域環境問題研究所『古代文字の中心性と周縁性』 春風社 四月

●科研費成果報告書『東アジアにおける法と習慣——死刑をめぐる諸問題』 四月

●秦漢刑罰制度研究 廣西師範大学出版社 四月

●江陵張家山二四七号墓漢律令の研究 朋友書店 十月

緒言——江陵張家山二四七号墓出土漢律によせて『江陵張家山二四七号墓漢律令の研究』 朋友書店 十月

生命の剝奪と屍体の処理 『江陵張家山二四七号墓漢律令の研究』 朋友書店 十月

古典再読 池田潔『自由と規律』 『中央公論』 一月号

剝奪生命と処理屍体の刑罰 中国政法大学『中国古代法律文献研究』 第三輯 十二月 一月

中西 裕 樹

「シヨオ文字」の試み 漢字と文化 八号

●科研費成果報告書『畚語基本資料集』 京都大学人文科学研究所 六月 三月

永田 知之

中央研究院歴史語言研究所逗留記 漢字と文化 八号 六月
相關ルールによる唐代官僚遷転の分析（共著）『文化情報学のパスベクトタイプ』 情報処理学会 十二月

翻訳・王邦維「洛州無影」『南海寄帰内法伝』中の一文に關する新考察― 京都大学人文科学研究所編『中国宗教文献研究』 臨川書店 二月

孫国棟著『唐代中央重要文官遷転途徑研究』問題点と補訂（共著）東洋学へのコンピュータ利用 第18回研究セミナ― 三月

藤井 律之

罪の「加減」と性差 富谷至編『江陵張家山二四七號墓出土

漢律令の研究

朋友書店 十月

藤原 辰史

解題・江澤譲爾『地政学概論』 石川栄耀『国土計画——生活圏の設計』『改訂増補 日本国土計画論』 柳田国男『都市と農村』 R・W・ダレエ『血と土』 山室信一編『帝国』日本の学知 第八卷 空間形成と世界認識

岩波書店 十月

稲も亦大和民族なり——水稻品種の「共栄園」 池田浩士編『大東亜共栄園の文化建設』 人文書院 二月

学に刻まれた満洲の記憶——杉野忠夫の「農業拓殖学」 山本有造編『満洲 記憶と歴史』 京大出版会 三月

船山 徹

●科研費成果報告書『南齊・竟陵文宣王蕭子良撰『淨住子』の訳注作成を中心とする中国六朝仏教史の基礎研究』 二〇〇六年三月

複雑系としての仏教漢文 人文 五三号 六月

従六朝仏典的漢訳と編輯看仏教中国化問題 第二届中国日仏学会議論文集（中国人民大学） 十一月

經典の偽作と編輯——『遺教三昧経』と『舍利弗問経』 京都大学人文科学研究所編『中国宗教文献研究』 臨川書店 二月

Masquerading as Translation: Examples of Chinese Lectures by Indian Scholar-Monks. *Asia Major, Third*

古松崇志

法均と燕京馬鞍山戒壇—契丹（遼）における大乘菩薩戒の流行—東洋史研究 六五卷三号 一二月

契丹・宋間の澶淵体制における国境 史林 九〇巻一号 一月

水野直樹

近代日朝關係と教科書問題 『研究会誌』 五〇号（二〇〇五年度） 滋賀県高等学校社会科教育研究会 五月

戦時期朝鮮の治安維持体制 岩波講座『アジア・太平洋戦争』第七巻（支配と暴力） 五月

対話と交流をとおして共に生きていくために—日本の植民地支配をふりかえる— 『共生の時代』（グリーンコープ連合理事会（福岡）） 二二四号 八月

創氏改名とは何だったのか 田中宏・板垣竜太編『日韓 始まりのための20章』 岩波書店 一月

初期コミンテルン大会における朝鮮代表の再検討 「初期コミンテルンと東アジア」 研究会編著『初期コミンテルンと東アジア』 不二出版 二月

丹波マンガン記念館—戦時下の朝鮮人労働者 『講座・人権 ゆかりの地をたずねて（二〇〇五年度講演録）』（世界人権問題研究センター編集・発行） 三月

「同化と差異化—日本の植民地支配と『創氏改名』（朝鮮文）

韓国学の世界化事業団・延世大学校国学研究院編『日帝植民地時期を読み直す』 図書出版ヘアン（ソウル） 三月

宮 紀子

『農桑輯要』からみた大元ウルスの勸農政策（上） 人文学報 九三号 三月

『兩足院—学問と外交の軌跡』（共著）

京都大学大学院文学研究科国語学国文学研究室 五月

『農桑輯要』からみた大元ウルスの勸農政策（中） 人文学報 九五号 三月

宮 宅 潔

漢初の二十等爵制—民爵に附帯する特権とその継承— 富谷至編『江陵張家山二四七号墓出土漢律令の研究』

拓本のでざわり 漢字と情報 八号 朋友書店 十月

向井佑介

北魏方山永固陵の研究—東亞考古学会一九三九年収集品を中心として（共著） 東方学報 京都 八〇冊 三月

麥谷邦夫

道教類書と教理體系 京都大学人文科学研究所編『中國宗教文獻研究』 臨川書店 二月

●唐玄宗金剛般若波羅蜜經注索引

人文科学研究所漢字情報研究センター 三月

●科研費成果報告書『江南地方志二十五種道教關係記事集成』 三月

●科研費成果報告書『江南道教の研究』 三月

劉混康略年譜 科研費成果報告書『江南道教の研究』 三月

森 時彦

一九一〇年代的中国市場与日本棉紡織工業『一九一〇年代的中国』国際學術研討會論文集』 八月

中国社会科学院近代史研究所

守岡 知彦

Concord:プロトタイプ方式のオブジェクト指向データベースの試み Linux Conference 抄録集 第4巻 六月

日本リヌックス協会

文字オントロジーに基づく文字処理について

情報研報 Vol. 2006, No. 112 十月

●CHISE Conference 2005 報告書 & Code Fest 京都 2005 資料集(編・共著) 京都大学 21世紀COEプログラム

「東アジア世界の人文情報学研究教育拠点」 一月

Character Database 2.0 守岡知彦編『CHISE Conference 2005 報告書 & Code Fest 京都 2005 資料集』 京都大学

21世紀COEプログラム「東アジア世界の人文情報学研究教育拠点」 一月

矢木 毅

高麗事元期における官品構造の変革 東方学報 京都 七九 冊 九月

朝鮮前近代における民族意識の展開——三韓から大韓帝国まで 夫馬進編『中国東アジア外交交流史の研究』 京都大学学術出版会 三月

安岡 孝一

漢文字体変遷研究のための拓本文字データベース (訓読)と漢字情報要旨集 典籍交流 八月

NかMか 漢字と文化 九号 十一月

Vistaで化ける字、化けない字 日経ITpro 十二月十四日・二十五日

拓本文字データベースの設計と実装 シンポジウム『地域研究と情報学…新たな地平を拓く』 二月

VistaをXPの字体に戻すというjp90タグの罠 日経ITpro 二月十三日

朝日字体の終焉 東洋学へのコンピュータ利用第十八回研究セミナー 三月

山崎 岳

越境草卒——院研究漢喃訪問 漢字と文化 八号 六月

翻訳・劉淑芬『禪苑清規』にみる茶礼と湯礼 京都大学人文科学研究所編『中国宗教文献研究』 臨川書店 二月

朝貢と海禁の論理と現実——明代中期の「奸細」宋素卿を題

材として 夫馬進編『中国東アジア外交流史の研究』

京都大学学術出版会 三月

山室 信一

出版・検閲の態様とその変遷—日本から満洲国へ— 東京大学東洋文化研究所『東洋文化』 八六号 三月

アイデンティティの重層と背反—その彼方に— 法政大学国際日本学研究所『東アジア共生モデルの構築と異文化研究』 三月

東アジアにおける日本近代法 早稲田大学比較法研究所編『日本法の国際的文脈—西欧・アジアとの連鎖—』 三月

宮崎滔天「三十三之夢」 京都精華大学文字文明研究所『文字』 終刊号 四月

「満洲領有計画」と石原莞爾の世界最終戦争論「リットン調査団と国際連盟」「満洲国の統治機構」『満洲帝国』 学習研究社 四月

東京裁判六〇年に寄せて—上・下— 熊本日新聞 五月二日・五日

国家とは何か 樋口陽一氏との対談 朝日新聞 六月八日

東アジアはいかに生まれ、どう創られるのか『東アジアへの視点』(国際東アジア研究センター) 一七巻二号 六月

戦争の記憶と伝承 現代のことは 京都新聞夕刊 八月一八日

「靖国問題」を超えて『第三文明』十月号 九月

祭りのあと 現代のことは 京都新聞夕刊 十月十九日

大東亜共栄圏の戦後 倉沢愛子氏との対談

朝日新聞 十月二七日

●岩波講座『「帝国」日本の学知・第八巻—空間形成と世界認識—責任編集 十

パーラーとダイエット 現代のことは

十月

日本をどう描くか 上・戦争の評価 佐伯啓思氏との対談 京都新聞夕刊 十二月十五日

日本をどう描くか 下・改憲をめぐる 佐伯啓思氏との対談 京都新聞 二月八日

規制と規正 現代のことは 京都新聞夕刊 二月二日

横山 俊夫

「協定校への派遣」の記録 (Environmental Change Institute, Oxford University Centre for the Environment / 森澤眞輔氏と共編) 第12回国際交流推進機構運営委員会、第285回京都大学国際交流委員会提出

Kyoto University Mission Statement (共訳「京都大学の基本理念」英語版 三月二十日役員懇談会了承) 京都大学 四月

しつけと笑い—前近代日本文明考『日本18世紀学会第28回全国大会プログラム報告要領 2006年6月10・11日』 四月

豊かさの再検討 (第23回比較会議報告書/共同企画・共編)

日本18世紀学会 四月

四月

- 比叡会議事務局 日本アイ・ビー・エム株式会社 五月
京都大学国際交流推進機構 The Organization for the Promotion of International Relations, Kyoto University (配布用三折一紙／共編) 京都大学国際交流推進機構 七月
開会挨拶『日英高等教育に関する協力プログラム 京都フォーラム2006』同プログラム日本側推進委員会事務局 (大学評価・学位授与機構内) 九月
学徒出陣図(京都大学迎賓室設置用解説、和英両文・西山伸氏、グレース・スタ氏と共編) 十月
対談 文(あや)をなして明るい未来可能な地球環境学を(日高敏隆氏と) Humanity & Nature Newsletter No. 41 October 2006. 総合地球環境学研究所 十月
京都文化会議二〇〇六 地球化時代のこころを求めて(会議参加者用冊子／共編) 京都文化会議組織委員会 十月
The 8th Kyoto University International Symposium, Towards Harmonious Coexistence within Human and Ecological Community on This Planet, Swissôtel Nai Lert Park, Bangkok, Thailand (会議英文アブストラクト集／共編) 京都大学 十一月
第8回京都大学国際シンポジウム「地球社会の調和ある共存に向けて」をバンコクで開催『京大広報』No. 619 京都大学 十一月
京都文化会議二〇〇六—地球化時代のこころを求めて 報告書(共同企画・共編) 京都文化会議組織委員会 二月
Kyoto International Culture Forum 2006—In Quest of

Kokoro/Human Minds for This Planet (jointly planned and edited) Kyoto International Culture Forum Organizing Committee 二月

◎ Sansai, An Environmental Journal for the Global Community, No. 2, Tracey Gannon and Toshio Yokoyama, General Editors, Sansai Gakuin, Kyoto University Graduate School of Global Environmental Studies 二月
京都大学大学院地球環境学堂・地球環境学舎・三才学林 年報／平成17年度(共同執筆)

有識者に対するヒアリング『持続可能な社会形成に役立つ日本の伝統的知恵の発掘とその国際貢献のための研究 第一次報告書』(話者校閲改訂版) NPO法人 現代文明 21 三月

◎ 嶋臺塾記録 第二冊(共編)

京都大学大学院地球環境学堂 三才学林 三月

◎ 難波鉦一松之部抄 人文科学研究所共同研究班「文明と言語」共同研究拾遺(共編)

京都大学人文科学研究所 三月

◎ 第8回京都大学国際シンポジウム「地球社会の調和ある共存にむけて」—中間報告書— The 8th Kyoto University International Symposium, "Towards Harmonious Coexistence within Human and Ecological Community on This Planet"—AN INTERIM REPORT—(田代恵氏と共編) 京都大学国際交流推進機構 三月

Opening Remarks, *The 2nd University Administrators Workshop: Innovating Universities through Internationalization*, Kyoto University, 1-2 February 2007.
京都大学国際交流課 三月

Enhancing Kyoto University's Language- and Culture-conscious Collaborations with Southeast Asian Institutions of Science and Technology, lecture at the JSPS Workshop for International Collaboration for the Formation and Development of Science and Technology Community in Southeast Asia, Bangkok, 12-14 February 2007.
第22回京都大学国際交流推進機構運営委員会資料、第296回
国際交流委員会資料 京都大学国際交流課 一二三月
同右説明スライド（河野泰之氏と共編）第22回京都大学国際
交流推進機構運営委員会資料 京都大学国際交流課 一二月
右一点冊子体 JSPS Bangkok Office 三月

Opening Remarks for the International Symposium on Pine Wilt Disease in Asia, Kyoto University, 15-18 February 2007. 京都大学国際交流推進機構 hp 掲載
三月

京都大学の国際交流に関わる危機管理についての提言（本学
役員会宛／共編） 京都大学国際交流推進機構 三月